



藤ノ木 茂君 (中台)

見直しの手並 絵の達人は



生きがいを贈り続けて13年

老人ホームへ秋葉さん (栗山)

五月四日 ここは養護老人ホーム——
みなさん仕度はできましたか？
「ハーイ！」と元気な声。
「今日は待ちに待ったイチゴ狩り」
招待をしてくださる方は、栗山

の秋葉隆さんで、お年寄りに幸せを贈り続けること十三年。今では同ホームの年中行事にもなり、みなさんの大きな生きがいにもなっています。
この日訪れた三十余名のお年寄り、勝手したるわが家同然に

着くなり広々としたビニールハウスへと直行。両手を赤く染めながら、甘い、大きいイチゴをドツサリともぎ取り、楽しいひと時を過ごされました。
「十年を周期として物事をする方で、一年やれば十年、十一年続ければ二十年、自分の信条みたいなものなんです」と語る秋葉さん。
これからも、秋葉さんご一家の心あたたまるプレゼントは続けられていくことでしょう。

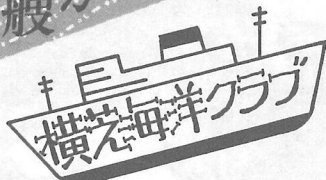
老人ホーム句会から

飯田カツヨ
今もなほ母恋う心芝桜
高橋 たつ
賑かに田植せし日の夢遠し
秋山 正吉
田植なら負けてならじと老ひの意気
菊池 はる
押花は俳句に詠みしすみれかな
菅沢 つね
緋毛毳敷きたる様や芝桜
並木 タヨ
桜見る玉杯うけて若やぎぬ

「切る・彫る・削る……手先を使うことが大好き」という藤ノ木君。二年前から美人画を画材に、「きり絵」に熱中しています。
下絵を書き、トレースし、更に絵になる黒の画紙に書きなぞり、そして切り抜き、この工程を得てようやく完成すること。切り抜きも、線と面がバラバラに離れずにつながっていることがポイントで、特に人物の場合は顔の表情に苦心するそうです。

この二年間で、すでに三百点余りを作ったとか。腕はもう大人はだして、作品の美人画からは、とてもきり絵とは思えないような、艶やかな色香がただよっています。今後は、「九十九里浜の風景や風物を題材にして、個展でも開きたいですね」と語る藤ノ木君。将来への青写真を大きく描いています。

新たに10艘が進水



B & G横芝海洋クラブ(月岡立男会長)が、五月十五日屋形漁港で進水式を行いました。
淡いオレンジ色のセーリングカッター(ヨット兼ボート)、白と青や緑をあしらったOPヨットやカヌーなど、色彩もあざやかな十艘が、クラブ員の操縦によってつぎつぎと進水し、見守る観客からは、祝福の拍手が送られました。
また試乗会では、小中学生や若い男女が、クラブ員のこまやかな指導を受けて、さつそうと広い港内を乗りまわし、その醍醐味を満喫していました。
発足三年目、会長・理事を中心にガッツリとスクラムを組むこのクラブ、会員と舟の増加で、より



一層の発展が期待されます。
なお、ヨットやカヌーに試乗されたい方は、横芝海洋センター(二一五七〇〇)へご連絡ください。